



藤岡 緑 議員

Q. 深刻化するいじめ問題に現場は

A. いじめは犯罪であり許されないという観点で対処

問

① 学校教育の現場で、いじめ問題が発展し陰湿で悲惨な結果を出し大きな社会問題となっている。

町内のこの問題についての対策は。

② 全国学力テストの結果から、今後の町内の児童生徒の学力向上に向けての対策は。

答

学校教育課長

① いじめに関して定期的なアンケート調査を実施し子どもたちをしつかり観察する。わずかな変化も把握し、教職員間の情報の共有化などいじめの前兆を見逃さないように取り組んでいる。

「いじめは犯罪であり絶対に許されない」という被害者の観点に立ち、指導、支援をし、早期解決につなげる。

更に重大な問題が発生した時は、教育委員会が主体となり専門機関と連携して解決していく。

問

高齢者の暮らしのサポート体制は

高齢者の取り巻く環境の変化に対応しながら、いかに快適に暮らしているのか、町としての支援体制を問う。

答

地域支え合い体制づくり事業と、郵便事業会社との提携による独居高齢者の実態調査協力で、更なる支援につなげる

町長



町の活性化は、高齢者の笑顔から

町内の人口の約4分の1が65歳以上の高齢者でその内一人暮らしの方が2千人、介護認定の方を除くと約千四、五百人の方々の生活実態が町として掌握しきれていない。元気に暮らせず、問題を抱え色々な情報からも閉ざされている高齢者に対する支援が特に必要になってくる。

今回は集会所2か所の施設充実に充てた。また郵便事業会社と契約して職員が配達業務をする傍らで、高齢者の暮らしぶりや困りごとなどいくつかの調査項目の聞き取りなどをする。情報収集とサポート体制の充実で更なる支援につなげる。

問

その他の質問

答

町の防災情報収集にフェイスブックの利用は

問

防災プロジェクトチームの中で検討したい。

答

教育長の4年間の総括と今後について教育全般について回答があった。